

リデル・ライト両女史顕彰会（地域文化活動部門）



概

要

設立年月日 平成五年四月六日

会長 永野光哉

会員数 四百名（役員二十五名）

所在地 熊本市黒髪五丁目二十三-1

電話番号 〇九六-三四三-〇四八九

主な活動地 熊本市黒髪

これまでの活動歴

- ・平成五年四月 顕彰会設立総会、リヂェル・ライント両女史記念祭開催（総合女性センター）
- ・平成六年二月 リヂェル・ライント両女史記念館開館式（リヂェル・ライント両女史記念館）
- ・平成六年六月 顕彰会総会、春季記念祭（リヂェル・ライント記念老人ホーム）
- ・平成七年二月 記念祭（リヂェル・ライント記念老人ホーム）
- ・平成七年六月 顕彰会総会、春季記念祭（リヂェル・ライント記念老人ホーム）
- ・平成七年十一月 回春病院開院百周年記念事業（記念館、記念老人ホーム）

リヂェル・ライント両女史顕彰会は、熊本の地を拠点に全国を舞台としてハンセン病患者救済など先駆的福祉活動に一生を捧げた英国人女性、ハンナ・リヂェルと姪のエダ・ハンナ・ライント両女史の偉大な功績を永く顕彰するために、平成五年四月に設立された。

顕彰会設立と同時に三日間、熊本市総合女性センターにおいて、「よみがえる二人の英国人女性 愛と奉仕の生涯」と題してリヂェル・ライント両女史記念祭を開催。この記念祭では様々な催しを行い、多くの人々に共感を与えた。顕彰会最初の記念祭であり、今や日本ではハンセン病も終焉を迎えようとしているが、同時に両女史の崇高な愛と奉仕の精神も忘れられようとしている今日、この熊本の地から福祉国家の礎を築いた両女史の顕彰のための第一歩を踏み出したと言える。

平成七年はリヂェル女史が私財を投じて開院した回春病院百周年にあたるため、十一月の秋季記念祭にあわせて百周年記念事業を開催。両女史の故国英国より駐日大使ご夫妻も出席された。また顕彰会の多くの方々の方々の協力により、大使夫人自ら執筆されたリヂェル伝記も、平成七年秋に日英両国で同時出版され大きな話題を呼んだ。

顕彰会では、毎年の総会と共に記念祭を開催し記念講演等を通じて両女史の更なる顕彰に努めており、今後とも日本人が成し得なかった先駆的な福祉活動に一生を捧げた両女史の顕彰を絶やすことなく永く後世へと伝えていくために、様々な活動が期待できる。

また、社会福祉法人リヂェル・ライント記念老人ホームから寄贈を受け、両女史の多くの遺品を含む関係資料を展示し、一般公開しているリヂェル・ライント両女史記念館を活用しながら、ここを拠点として熊本はもとより、全国に向けた「福祉の心」の啓蒙運動に大きな期待もてる。

なお、平成四年度には、両女史同時に熊本県近代文化功労者表彰を受けている。